

みずほCustomer Desk Report 2023/12/20号 (As of 2023/12/19)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	142.71
TKY 9:00AM	142.69	1.0923	155.67	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	144.95	1.0987	158.56	1.2651	0.6705
SYD-NY Low	142.25	1.0916	155.47	1.2761	0.6774
NY 5:00 PM	143.84	1.0980	157.92	1.2650	0.6701
				1.2730	0.6762

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	37,557.92	251.90	日本2年債	0.0700%
NASDAQ	15,003.22	98.41	日本10年債	0.6400%
S&P	4,768.37	27.81	米国2年債	4.4405%
日経平均	33,219.39	460.41	米国5年債	3.9370%
TOPIX	2,333.81	16.95	米国10年債	3.9304%
シカゴ日経先物	33,395.00	600.00	独10年債	2.0145%
ロンドンFT	7,638.03	23.55	英10年債	3.6545%
DAX	16,744.41	93.86	豪10年債	4.1040%
ハンセン指数	16,505.00	▲ 124.23	USDJPY 1M Vol	9.12%
上海総合	2,932.39	1.59	USDJPY 3M Vol	9.63%
NY金	2,052.10	11.60	USDJPY 6M Vol	9.70%
WTI	73.94	1.12	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.25%
CRB指数	267.70	1.80	EURJPY 3M Vol	9.67%
ドルインデックス	102.17	▲ 0.39	EURJPY 6M Vol	9.80%
			Yen Call Over	▲ 0.36%

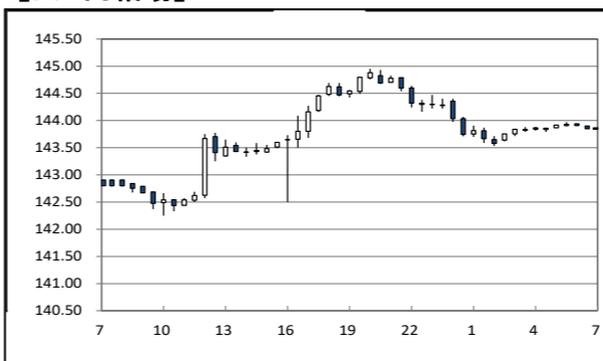
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月19日	11:49	日 日銀金融政策決定会合 政策金利	12月 -0.10%	-0.10%
	15:30	日 植田日銀総裁 会見	「確固たることは申し上げられない」	
	22:30	米 住宅着工件数	11月 1,560K	1,360K
	22:30	米 建設許可件数	11月 1,460K	1,465K

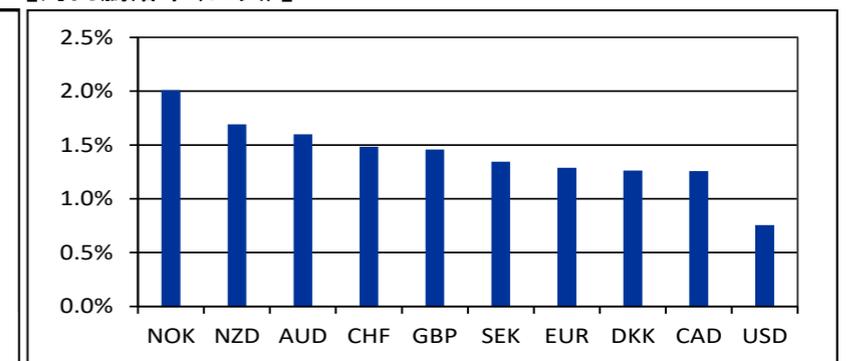
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月20日	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	11月 -0.3%/-7.5%	-0.1%/-11%
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	11月 0.1%/4.3%	0.0%/4.6%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	11月 5.6%	5.7%
12月21日	00:00	米 中古住宅販売件数	11月 3.78M	3.79M
	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	12月 104.5	102.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.50-144.80	1.0900-1.1050	157.00-159.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は一時145円手前まで上昇。注目されていた日銀金融政策決定会合の結果が現状維持となったことに加え、植田総裁の会見では注目されていたマイナス金利政策の解除へ向けての具体的な言及がなかったことを受け、144.95まで続伸。その後、米国時間にはFRB高官のハト派的な発言を受け143円半ばまで値を戻しクローズした。本日のドル円はレンジでの推移を予想する。昨日の日銀金融政策決定会合や植田日銀総裁の発言からマイナス金利の早期解除の思惑が後退したことを受け円売り圧力は強いだろう。一方、米国ではパウエル議長のハト派発言以降、FRB高官の市場の織り込む早期利下げを牽制する発言が相次いでいるが、流れを変えるには至っておらず、ドルの上値も重い。以上を背景に底堅く推移するも上値は重くレンジでの推移が基本線か。

東京	東京時間のドル円は142.69レベルでオープン。日銀が金融政策決定会合にて金融緩和策の現状維持を決めたことを受けて円全面安となった。フォワードガイダンスも維持したことで円売りが進み、一時143.77まで上昇した。その後は植田日銀総裁の会見を控えて143.50近辺で推移し、結局143.60レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.60レベルでオープン。植田日銀総裁の発言中に大きく下振れし142.50をつけるも程なく買い戻され、基本的には円安ムード。その後の高値は144.95までと値幅が大きかった。144.32レベルでNYに渡った。なお本日ハンガリー中銀が事前の予想通り政策金利を0.75%ポイント下げし10.75%とした。予想通りだったためか、フォロワーはやや買われた。(ロンドンFTリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は142円台後半でスタート。日銀による現行の金融緩和政策を維持する方針が発表され、円売りが優勢となり、143.77まで上昇。続いて行われた植田日銀総裁の記者会見では、「物価目標の実現に向けた確度少し上がってきている」との認識を示すと、142.50まで瞬時に下落する。しかし、その後は「焦って政策変更は不適切」、「現状まだ具体的にこうであるという発信が出来る状態にないため、確固たることは申し上げられない」との発言を受け、注目されていたマイナス金利解除へ向けての具体的な発言は見当たらなかったことから円売りが強まり、144.95まで続伸。円売り一巡後は小幅反落し、144.32レベルでNYオープン。朝方の米11月住宅着工件数は予想を上回るも、米11月建設許可件数は予想を下回り、強弱混合の結果を受け、ドル円は反応薄。その後バーキン・リッチモンド連銀総裁が「インフレがうまく鈍化すると見えずなら、適切に対応するだろう」との見方に米金利は低下で反応し、ドル円も143.53まで反落。午後は下げ渋り、144円手前まで戻し、その後143.84レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。米金利低下と欧州株高を受け底堅く推移し、1.0969レベルでNYオープン。午前中は米金利における一段の低下を横目に、1.0987まで続伸。午後は小幅反落し、特段手がかり材料が無く、1.0980近辺を中心とした動意乏しい推移が続き、1.0980レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・鈴木